



公表 「2018-8月 乳用種雄牛評価成績」

平成30年8月7日、「乳用種雄牛評価成績 2018-8月(以降、「評価成績」)が公表になりました。今月はこの評価成績と新規種雄牛を紹介します。今回の評価成績月において、新たに11頭の種雄牛が選抜されました。11頭の内訳は、当団が2頭、ジェネティクス北海道から8頭、当団と十勝家畜人工授精所との共有1頭です。以下のランキングが新規種雄牛になります。

順位	略号	名号	NIP	乳代効果	長命連産効果	泌乳形質 (EBV)							血統			
						信頼度	Milk	Fat%	Pro%	SP%	体細胞スコア	体貌と骨格	肢蹄	乳器	決定得点	父
1	JP3H56556	モ-ンガ'ビ'ル'ブツケムミ ET	3218	150,543	91,307	86	1,444	0.08	0.09	0.11	2.21	-0.16	0.49	1.50	1.11	ブツケム
2	JP3H56732	ク'リンハイユ コスモ'リス ET	3214	146,843	83,401	88	1,364	0.17	0.14	0.12	2.00	0.76	0.41	1.73	1.61	モーグル
3	JP3H56735	デ'ス-MGL'グ'リン'グ'ラ'ス0464 ET	2994	153,213	83,570	86	1,415	0.21	0.03	0.11	2.41	0.09	0.49	1.42	1.16	モーグル
7	JP3H56580	ティンカ'ヘル'タイムアクト ET	2682	73,833	124,641	86	480	0.33	0.28	0.35	1.63	0.18	0.73	1.52	1.16	ブツケム
13	JP3H57077	SMF ス'-'ア'ン'ブ'ロ'ーズ ET	2393	91,783	51,264	80	784	0.17	0.17	0.19	2.13	0.78	0.39	1.74	1.62	マツカチエン
16	JP0H56736	ストレ'ア' マツセイ'マ'シ'ヤ'ル ET	2332	73,268	78,519	85	513	0.20	0.29	0.38	2.05	0.82	0.73	0.66	1.02	マツセイ
22	JP5H56682	ブ'ル'ム'ン'マ'シ'ス ET	2160	94,946	71,448	85	852	0.17	0.13	0.10	1.72	0.12	0.47	1.30	1.26	マツセイ
23	JP3H56757	サ'ワ'ド' STEP'ド'ロ'シ'ー ET	2147	135,821	74,320	87	1,473	-0.21	-0.11	-0.01	1.49	0.32	0.51	1.36	1.12	ドロシー
27	JP5H56717	ジ'-'ブ'ラ'ント' オ'ス'タ'イル'レ'ソ'ン ET	2118	95,533	104,073	84	1,002	-0.07	0.07	-0.01	1.88	0.29	0.62	0.67	0.70	オースタイル
28	JP3H56880	JC ニ'コ'ラ'ス'ケ'イ'ジ'ー	2114	131,234	74,899	85	1,335	0.01	-0.16	-0.02	2.23	0.57	0.71	1.46	1.33	モーグル
35	JP3H56660	オ'ム'ラ'ブ'ラ'ウ'ニ'ー ET	1982	89,152	77,427	88	904	-0.05	0.03	0.05	1.94	1.12	0.71	1.91	1.61	ブツケム

新たに選抜された種雄牛の父牛は、モーグル3頭、ブツケムが3頭、マツセイが2頭、マツカチエン、ドロシー、オースタイルが各1頭と特に今まで国内種雄牛を利用していた方にはアウトクロスとなるラインナップになっております。

今回の新規選抜種雄牛の成績は、泌乳能力において産乳成分の改良力の高い種雄牛が多く、体型改良力とのバランスがとれた種雄牛が多かったことが特徴でした。コスモポリスは産乳成分第2位、ブツケムミミが同じく産乳成分第3位。さらにタンパク質量においてコスモポリスが第1位、ブツケムミミが同じくタンパク質量第2位という評価成績となっております。

また、体型においてもTOP40位における上位10位以内に新規牛が多くランクインしており、決定得点においてGHからアンブローズ、コスモポリス、ブラウニー、ニコラスケイジー、当団からブルームーンマシスの5頭が加わっております。

以上が今回新たに加わった種雄牛になります。

今回紹介した新規種雄牛以外にも特徴のある種雄牛が多く、改良ニーズに合わせた種雄牛を選択し利用いただければと思います。利用する種雄牛に迷われましたら是非ご相談下さい。

詳細は岡山種雄牛センター(電話 0868-57-2475)岡橋までお問い合わせください。

農林水産事業からのお知らせ - その111 -

広島県の酪農家の皆様へ

このコーナーでは日本政策金融公庫から、酪農家の皆様の経営に役立つ情報を提供して参ります

TOPIC 細霧送風システムはトンネル換気下のタイストール乳牛舎の暑熱対策に有効である

公庫では、農業の最新技術を研究してきた「テクニカルアドバイザー」が、酪農や稲作など、各農業分野の最新技術を「技術の窓」としてとりまとめ、皆様にご紹介する活動も行っています。

地球温暖化により夏期の猛暑日の増加が予測され、暑熱に弱い乳牛の生乳生産量の減少が危惧されています。特に長野県などの寒冷地帯は気密性が高い牛舎が多いため、暑熱対策の強化が急務になっています。そこで、長野県畜産試験場ではトンネル換気下のタイストール(つなぎ飼い)乳牛舎に有効な新たな暑熱対策システム(細霧送風システム)を開発しましたので紹介します。

☆技術の概要

1. このシステムは、牛の肩～背部に向けてピンポイントで細霧の間欠吹付けをおこなうことで牛床を濡らさずに、暑熱時の搾乳牛の体温および呼吸数の増加と飼料摂取量および乳量の低下を抑制できます。
2. システムに井戸水を活用した冷風機を組み込み、細霧に加えて冷気を送風するとさらに体温と呼吸数の増加を抑制できます。
3. 稼働日の判定は、15時の温湿度指数(THI)が77以上と予想される日とします。

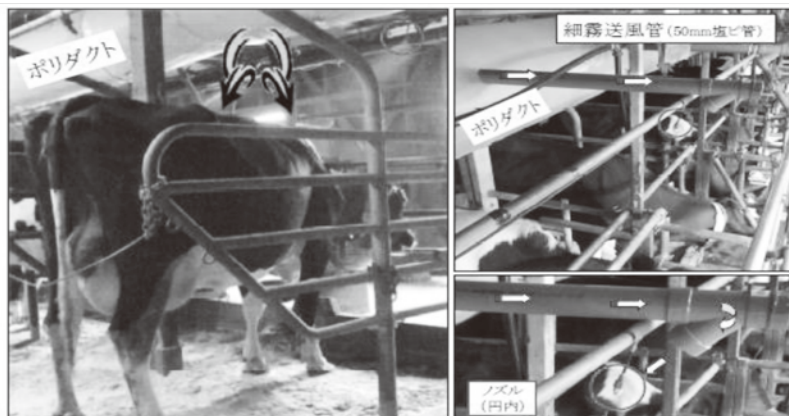


写真1 細霧送風システムの概要

☆活用面での留意点

1. システムの設置はトンネル換気により十分な換気が行われていることを想定しており、換気が不十分な場合には逆効果になる可能性があります。
2. システムのノズルの位置は、トンネル換気の風向、風速および牛舎構造を考慮する必要があります。
3. 詳しくは、長野県畜産試験場酪農肉用牛部(TEL:0263-52-1188)にお問い合わせください。

(日本政策金融公庫農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 加茂幹男)

※詳細については、農林水産省のホームページをご参照ください。
⇒ http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito_nouchi.html

(株)日本政策金融公庫 広島支店 農林水産事業

所在地: 〒730-0031 広島市中区紙屋町1-2-22 広島トランヴェールビルディング6階
TEL:082-249-9152 FAX:082-249-9102

○相談窓口も以下の場所で開催しております。

三次相談窓口(11月は7日と21日)

場所:三次農業協同組合本店

庄原相談窓口(11月は1日と15日)

場所:庄原農業協同組合本店

福山相談窓口(11月は9日)

場所:日本政策金融公庫福山支店

※予約制で開催しております。ご来店の際は事前にご連絡をお願いいたします。